

平成30年12月15日現在 児童発達支援・放課後等ディサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切であると判断しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置(2名)以上の配置並びに作業療法士・保育士の配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		生活での基本的経験値を養う上で、特に配慮は必要ないかかかえております。また、賃貸物件では、改修が難しい場合もあります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的にMTや会議を行い、問題点や重要事項、情報等の共有を図っております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			不定期ではありますが、アンケートの実施を行い、ご要望に合うよう改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HP上にUPしております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員における評価は行っていません。必要に応じ評価頂き、業務改善事項については取り組んでまいります。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会の開催内容に応じ、職員の参加を実施しております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか	○			実施しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			実施しております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			固定化しないように、複数のスタッフに常に検討し、実施しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			⑩同様です。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々のお子様に合わせてメニューや課題を取り入れております。
	⑭	子どもに状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるサービス計画を作成しているか	○			計画だけでなく、実行しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			実施しております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			実施しております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			実施しております。
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			実施しております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			実施しております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			参加しておりますが、基本【学校の都合】に合わせた会議が多すぎるため、参加が大変であります。
	㉑	学校等関係機関との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	保育所・幼稚園、相談支援事業所との連携は図れますが、学校との連携はまったくしていないのが実情です。打開する方法を検討します。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	保護者様同席のため、特に主治医との連絡体制は整えておりませんが、今後は医療連携に力を入れます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	厚生労働省管轄及び文部科学省管轄による横、縦の連携がとれていないのが現状です。来年度は、行政さんにも動いていただき改善したい考えです。
	㉔	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	仙台市以外の地域では、相談支援専門員がいる為、引継ぎ等が可能ですが、仙台市においては難しい問題です。保護者様と相談の上進めてまいります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	全く連携という事はありません。情報ありませんので問題と考えております。顔の見える関係性の構築を図ります。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者様からのニーズではないため弊社では、参加しておりません。参加予定も未定です。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	仙台市内の自立支援協議会には参加しておりますが、他の地域に参加しても発言権がありません。地域にかえるお子様たちの事を考え、参加できる仕組みを構築します。
保護者への説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			実施しております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			実施しております。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			実施しております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			実施しております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			実施しております。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しているか	○			実施しております。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			実施しております。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			実施しております。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			実施しております。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行っていません。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			実施しておりますが、周知が弱いようですので、2019年度はもっとわかりやすく提示していきます。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			実施しておりますが、周知が弱いようですので、2019年度は参加者様を増やすように告知していきます。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			実施しております。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、サービス利用計画に記載しているか			○	どのような場合でも、身体拘束は行っていませんので、記載しません。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食べ物の提供は行っていません。
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			実施しております。	

総括：児発・放デイ共に設備面での課題として、意見をいただいております。賃貸物件の為、改善できない部分もありますが、オーナー様等と協議の上、改善できる部分は問題提起させて頂きます。マニュアル面や非常災害面に関しては、告知が少ないまたは、更新等の情報発信が周知されていないと感じております。この点につきましては、早急な改善と周知を行います。問題点として、連携や共同の部分です。特に学校等との連携は、皆無なのは実情です。行政様と協力の上、お子様の支援に関し、報告・連絡・相談等ができるように努めてまいります。